

西播磨圏域自立支援協議会 活動記録

開催日時	令和6年10月17日(木) 10:00~11:28
開催場所	赤穂市民会館2階 中会議室
内容	令和6年度 赤穂・相生地区合同部会 (障害児計画相談に関する連絡会・療育に関する情報交換会・市町部会)
議事	<p>全体司会：赤穂市</p> <p>【開会】10:00~10:04 堤主任より挨拶</p> <p>【事業所の紹介】10:04~10:09 6月以降に開所した3事業所のうち、2事業所が今回の部会に参加していたため、簡単に挨拶を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいここ-あそび to まなび- 10月より事業を開始。発達障害をメインに支援できたらと考えている。 ・木のおうち かめのこ 事業は、既にある「木のおうち」と同じ、放課後等デイサービスを実施。「木のおうち」の年齢層が幅広くなってきたので、かめのこでは小学校1年生から3年生を対象として実施している。作業療法士を雇用しているので、訓練についても少しずつ行っている。 <p>【自立支援協議会について】10:09~10:20 圏域コーディネーター濱本氏より挨拶 「(地域)自立支援協議会について」に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤穂市と相生市については、協議会が十分に運営されていると認識。 ・協議会が形骸化している地域も多い中、圏域でしっかりと機能しているのは西播磨だけ。県内全41市町に設置はされているが、思ったように機能していないところも多い。 ・自立支援協議会について、縦ラインのつながりが不十分という意見が多い。個別のケースを各個別支援会議で検討し、地域のニーズとされるものを上部の組織へつなげていくことが重要。 ・自立支援協議会は決定機関ではない。協議の場。課題を集積し、検討し、提案することが機能の一つ。 ・赤穂市、相生市では、協議会において、個別のニーズをどう上部へつなげていくかが課題と聞いているので、その点について本日意見交換できれば。 <p>【意見交換会】 グループ毎に意見交換を実施。</p> <p>① 各市町の自立支援協議会について 10:20~11:15 意見交換後、各グループの話し合いの結果を発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1グループ <ul style="list-style-type: none"> ・協議会内で連携がとれていない。また、個々でも積極的に行動ができていない。 ●2グループ <ul style="list-style-type: none"> ・部会と上部との連携が不十分。また、部会として協議した事項の趣旨が

十分に上部へ伝わっていない場合もあると考えられる。部会として十分に根拠をもった意見となるよう検討し、上部へ伝えていくことが重要。

- ・ 全体会の構成員について、構成員が十分に機能していないということであれば、構成員の変更も検討が必要。

● 3 グループ

- ・ 部会で様々な意見が出た際に、その意見をまとめる部会長のようなものが必要。そして、部会で話し合った後に、各部会長が集まり、検討する。そのようなプロセスがないと、何が重要な課題なのかがまとまらず、行政としても対応が難しくなることが想定される。
- ・ まずは、部会長の設置、各部会長の検討会の設置が必要。
- ・ 仮に十分に機能しないとしても、再検討し、改善していけばよい。

● 4 グループ

- ・ 各部会の連携がなく、情報連携ができていない。
- ・ 部会で活動はできているが、上部へ情報が伝わっている実感がない。アンケート等があったとしても、意見が反映されていないイメージがある。
- ・ 教育委員会や学校の校長のような第三者が部会等に入ってもらうことも重要ではないか、という意見があった。

※ 4 グループの発表の後、濱本コーディネーターより、赤穂市において、全体会の委員が、赤穂市の協議会を傍聴していることの紹介があった。

② 情報交換 11:10～11:25

それぞれグループ毎に自由に情報交換。

【閉会】